

「(仮称) ギラヴァンツ北九州サポーター会議」の開催に向けて (素案のたたき台)

※ここで記載している事項も協議の上でまとめることが必要。
※「サポーター」という言葉の定義は厳密には考えていません。

1. 趣旨

- ギラヴァンツ北九州の持続的活動のためには…
より多くの人から愛され、スタジアムに多くの人々が楽しく集う状態を目指すことが必要。
※ これは少数の市民のため、あるいは運営会社のためではない。北九州に関わる人々にとってギラヴァンツ北九州の存在は非常に貴重であり、その貴重な輝きがさらに増すことにより、多くの人々、地域全体に大きなメリットがあると考えられるためである。
- そのためには、ギラヴァンツ北九州の広報、地域貢献活動、試合運営などが、より魅力的なものとなる必要がある。 → 現状では問題点が多い。運営会社による自己解決力にも課題。
- こうした点を踏まえ…
ギラヴァンツ北九州を応援するサポーターの視点からアイデア等を出し合う場を設ける。議論した結果については、クラブに提示し実践を求め、あるいはサポーター自らが活動を展開するものとする。
- 会議は定期的な開催を目指す。(年数回程度)

2. 主催者

ギラヴァンツ北九州のサポーター有志 ※ 幹事(固定する必要なし)を数名選ぶ必要あり

3. 参加者

オープンな集会とし、ギラヴァンツを応援する人であれば誰でも参加可。
クラブ関係者にも参加を呼び掛けることも検討。

4. 会議の内容等

- 前向きで具体的な意見、アイデアを出し合う場とする。(批判に終始しない)
- 特別な会議運営手法等は用いず、進行役が論点を整理した上でフリーディスカッションを行うことが想定される。(多くの人が発言できるよう、発言あたりの時間制限を設ける等のルールは必要か)ただし必要に応じ、冒頭で特定の方に問題提起を行っていただくこともあり得る。
- 会議として意見集約ができる部分は集約を行うが、無理に一本化を図ることはしない。対立するアイデア等が両論併記となることも考えられる。
- 会議のネット配信、及び意見投稿等を検討する。
- 議事録を作成し、公開する。(個人情報等には配慮)
- 開催に必要な経費は、原則として参加者自らが負担する。

5. 会議で出された意見、アイデア等の取扱

- クラブに対し可能な限り検討・実施を要求する。(具体的な仕組みについては要検討)
- 行政など関係機関等に対しても、必要に応じ提案を行う。
- サポーター自身に関わることについては、自ら実践するよう努力する。

6. 議題等について

- 会議を定期的で開催していくことを前提とし、その時点で極めて重要であると考えられるテーマを絞って議論することとする。(散漫な議論にならないようにすることが必要)
- テーマについては、クラブのいわゆる「フロント」が行う内容を中心とし、チームや下部組織(サッカースクール含む)の取り組みについては原則として対象外とする。
- また、サポーターが行う諸活動も議論の対象と成りうる。(サポーター企画・運営によるイベントの開催、スタンドが一体となった応援方法など)
- まずは当面の重要課題として、「広報活動」を取り上げることが考えられる。

※その他、個人的雑感

- 会議はギラヴァンツ北九州の発展に向け、クラブと対等の立場で、前向きな意見、アイデアを出し合う場とする。「批判・対立」ありきではなく、もちろんクラブとの「なれ合い」の場でもない。「サポーター同士の内輪で盛り上がろう」という場でもない。
- ギラヴァンツ北九州のすばらしさ、観戦のすばらしさを、現在は関心の薄い人々にも分かりやすく伝えようとする姿勢を重視すべき。
- ギラヴァンツ北九州がより多くの人に愛されるには、多様な考え方を持つ人々に理解を求めていく作業が必要となる。会議の場でも同様に、参加者には多様な考え方の人がいることを前提に参加する必要がある。ギラヴァンツを応援する視点からの意見であれば、互いの意見を尊重し理解し合う姿勢が望ましいのではないかな。

※会議開催に向けての当面の課題

- ① 幹事(複数名)の決定 ※Twitter上での意見交換で代替可か?
- ② 以下の事項の決定
 - ・日時
 - ・場所
 - ・ネット配信や意見投稿の方法の技術、経費等の検討
 - ・経費
- ③ クラブとの交渉
- ④ 会議開催の告知の実施